「つや姫」マイスター通信第２号 平成２６年度

～マイスター紹介と全国サミットに参加～

２０１４．９．１

■【島根の「つや姫」マイスター紹介】

☆藤井　強志さん

・藤井強志（５４歳）さんが経営されている合同会社　アグリ米ブリッジは平成２６年２月４日に設立されました。益田市白上町の平坦地に位置し、２６年産で水田面積約１５．５ｈａ、うち「つや姫」を約２ｈａ作付されています。お米の栽培を始めて５年目ということですが、年々、栽培技術も向上し、品質・収量とも安定しています。

・会社名である「アグリ米ブリッジ」の由来は米を通じて生産者から消費者の皆さんへの架け橋、農業の未来への架け橋を築くという願いが込められています。

・水稲を中心とした農業を企業として維持発展して行くことが、地域農業の維持に寄与できるという信念のもとで毎日奮闘しておられます。

・いろいろな場所で作られた、様々な品種を食べ比べているという研究熱心な藤井さん。いろいろな地域、人、ほ場条件、栽培方法で作られている「つや姫」の中で、自分の作った「つや姫」がどういう評価になるのか、消費者感覚で食べ比べをしてみたいという提案をされました。

藤井さんはギターを弾かれるそうです。フォークソングが大好きで自分で歌いたい一心で始められました。
音楽を通じて人と人との繋がりを拡げていきたいとおっしゃっていました。

■【「全国つや姫サミット」が開催！】

７月２５日（金）、今年で４回目となる「全国つや姫サミット」が山形県で開催され、島根県からはマイスター６名を始め、約２０名が参加しました。

サミットでは、全国の生産者、流通関係者や行政担当者ら約 200 名が集まり、トップブランド米として全国で評価を確立するための課題や今後の対策について意見交換が行われましたが、主催者である吉村山形県知事から「『つや姫』は作って喜ばれ、売って喜ばれ、食べて喜ばれる三拍子そろったお米であり、日本を代表するお米にしたい」と決意が述べられました。

午前中は、選別網目 1.9㎜を導入し、タンパク含量で仕分けを行うなど付加価値を高めた「つや姫」づくりを行う JA さがえ西村山「つや姫ヴィラージュ」や JA みちのく村山の「雪室米つや姫」の取組みを視察。その後、つや姫を作付している山形県、宮城県、島根県、大分県、長崎県の５県が「つや姫」のブランド化に向けた取組みを発表し、少人数のグループ毎に意見交換を行いました。

最後には、「つや姫」生産県５県の代表者による「全国つや姫サミット共同宣言」があり、参加したマイスターを始め、島根県関係者も良質米生産への決意を新たにしました。

共同宣言をする各県の生産者代表

島根の「つや姫」マイスターを紹介する農技C担当

■【集合研修（３回目）を開催しました】

８月５日、農業技術センターにおいて、『島根の「つや姫」マイスター第３回集合研修』を開催しました。

研修では、７月２５日に山形で開催された「全国つや姫サミット２０１４」に参加されたマイスターの方々及び関係者から報告をいただきました。

今回のサミットでは、「つや姫」を導入した各県ともトップブランドの米（商品）として栽培する意識が高いことを再度認識し、本県でも良質米生産へのさらなる取り組みを強めることを確認しました。

次に、今後の肥培管理では収穫までの水管理などについて理解を深めるともに、各マイスターの水田の土壌診断結果を確認し、今後の施肥設計や土づくりに活用することにしました。

マイスターの方々からは、「つや姫 PR は県外にも必要である」、「出穂期以降曇天が予想されるが対策はどのようなことがあるか」といった提案、質問が上がるなど、良質米生産や販売拡大に向けた高い意欲が伺える研修でした。

■【今後の栽培管理】

農業技術センターから「つや姫栽培管理情報」を出しています。

栽培管理の参考としてください。

■【各地域トピックス】

各地域からの情報を募集しています。

☆「島根県ホームページでの情報提供」

「つや姫マイスター通信」と「つや姫栽培管理情報」を島根県ホームページでも掲載しています。

◆ホームページアドレス

http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/seisan/shinkou/komesinhinsyu.html

□ お問い合わせ

全農島根県本部
米穀農産部米穀課
TEL：0853(73)9521

島根県農業技術センター
技術普及部農産技術普及課
TEL：0853(22)6967

島根県農畜産振興課
農産グループ
TEL：0852(22)5129